

教育民生常任委員会に付託された事件について、審査した結果を御報告いたします。

認定第 1号 平成27年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

本件のうち、当委員会所管分は、慎重審査の結果、認定すべきものと決しました。

認定第 3号 平成27年度岩国市後期高齢者医療 特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第 4号 平成27年度岩国市国民健康保険 特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第 5号 平成27年度岩国市介護保険 特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第 14号 平成27年度岩国市病院事業会計決算の認定について

以上4件は、慎重審査の結果、認定すべきものと決しました。

議案第116号 平成28年度岩国市一般会計補正予算（第1号）

本議案のうち、当委員会所管分は、慎重審査の結果、原案妥当と認め可決すべきものと決しました。

議案第117号 平成28年度岩国市後期高齢者医療 特別会計補正予算（第1号）

議案第118号 平成28年度岩国市国民健康保険 特別会計補正予算（第1号）

議案第119号 平成28年度岩国市介護保険 特別会計補正予算（第1号）

議案第132号 不動産の処分について

以上4議案は、慎重審査の結果、原案妥当と認め可決すべきものと決しました。

それでは、審査の状況について、御報告いたします。

認定第1号 平成27年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、当委員会所管分の審査におきまして、委員中より、総務費の再編関連特別事業費の（仮称）横山シロヘビ資料館整備事業について、同資料館の入館者数が10万人を超え順調な滑り出しと聞いているが、その要因をどのように捉えているのか、との質疑があり、当局より、従来は生体展示のみであったものが、教育的効果を高めるなどして学校教育等にも活用されていることや、本市出身の漫画家の原画展などを企画したことなどが考えられる、との答弁がありました。

これを受けて委員中から、漫画を活用した企画などには大きな集客力があるとされているが、本市出身の漫画家はまだほかにもおられることから、積極的にPRを行っていきべきではないか、との質疑があり、当局より、これまでも本市出身の漫画家を起用したいろいろな取り組みを行ったことがあるが、集客という観点においても重要なことと認識しており、対応を考えてまいりたい、との答弁がありました。

本件のうち、当委員会所管分については、慎重審査の結果、全会一致で認定すべきものと決しました。

次に、議案第116号 平成28年度岩国市一般会計 補正予算（第1号）のうち、当委員会所管分の審査におきまして、委員中より、教育費の教育諸費のふるさと民泊学習推進

事業について、今年度にこの事業を活用する中学校の宿泊先が市外となっているが、市内の地域によっては、他市の学校からの受け入れや国体開催時に民泊の受け入れを実施したことで、ノウハウを持ち合わせている方々も多い。本市を愛するところを育むためにも、市内での宿泊体験が望ましいのではないかと、との質疑があり、当局より、地域を大切にすることは重要であり、今後民泊を希望する学校があれば、市内の施設を利用するようしっかり啓発を図ってまいりたい、との答弁がありました。

本議案のうち、当委員会所管分については、慎重審査の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

次に、議案第132号 不動産の処分についての審査におきまして、委員中より、議案の審査に先立ち、先般の一般質問において、「当時、ちゃんとした契約をしないと岩国医療センターが沼田のほうに移るぞというふうに、ある県議会議員が言っていたことによって、最終的に不利益な契約を結ぶに至った」という趣旨の発言があったが、当局ではこのことについて確認しているのか、との質疑があり、当局より、本件についていろいろと調査し、また岩国医療センターにも照会したが、こうした事実については確認ができなかった、との答弁がありました。

本議案は、慎重審査の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

なお、そのほかの案件につきましては、特に申し上げるべきことはございません。

以上で、教育民生常任委員会の審査報告を終わります。